

# 平成22年度 事業評価（事業活動記録）

事業No. 241

所管部局	福祉部	所管課	高齢福祉課	担当者名	西 亜希子
事業名	老人クラブ活動助成事業			事業分類	ソフト事業
細事業名	老人クラブ活動助成事業			政策体系	147
会計	一般会計	科目	3.民生 - 1.社会 - 4.高齢		

## 1. 事業の概要

老人クラブ連合会及び単位老人クラブ活動の活性化を図り、高齢者の生きがいや健康づくり推進など自主的活動への支援を行う。

## 2. 事業の目的と必要性

### ①施策で目指す目標との関連付け

老人クラブでは、地域を基盤に結成された自主的な組織であり、仲間づくりを通して、自らの文化・スポーツ活動や社会福祉活動への支援を図る。

### ②事業を実施する必要性

社会の高齢化が進むとともに、老人クラブが行なう各種活動は、今後一層重要性を増すことから、その活動に対して必要な支援を行い、高齢者の生きがいづくりを促進する。

## 3. 事業費の推移

	単位	平18決算	平19決算	平20決算	平21決算	平22予算	平23計画	平24計画
決算額または計画額	千円	8,077	7,642	7,705	7,663	7,730	7,699	7,699
うち一般職・嘱託職・臨時職の給与および共済費等	千円	0	0	0	0	0	0	0
財源内訳	使用料・手数料等	千円	0	0	0	0	0	0
	国・府支出金	千円	5	4,517	4,568	4,550	4,582	4,564
	地方債	千円	0	0	0	0	0	0
	一般財源	千円	8,072	3,125	3,137	3,113	3,148	3,135
職員等の従事人員	人/年	—	—	0.31	0.35			
人件費	千円	—	—	2,116	2,306			
事業費総額	千円	—	—	9,821	9,968			

※事業費を要しない場合は「0」、事業を実施しない場合は「空白」で表示。  
 ※千円未満を四捨五入し表示しているため、合計等が一致しない場合がある。

## 4. 主な事業費の内訳

単位老人クラブ補助金	5,418,720円
各町老連補助金	1,551,120円
健康づくり事業補助金	693,000円

## 5. 事業結果の概要

老人クラブ連合会	4連合会
単位老人クラブ	107クラブ
健康づくり事業	4連合会

## 6. 活動の詳細

活 動 内 容	活動日又は時期	活 動 結 果 等
<b>(1) 単位老連</b>		
在宅福祉事業補助金交付要綱に基づき、高齢者が出来る限り自立し、生きがいを持ち安心して暮らせる社会作りのため、老人クラブが行う活動に対し補助金を交付する。各単位クラブから補助金交付申請書の提出を受け、決定通知書を交付し、補助金を交付する。	11月	107クラブ
<b>(2) 町老連</b>		
在宅福祉事業補助金交付要綱に基づき、高齢者が出来る限り自立し、生きがいを持ち安心して暮らせる社会作りのため、老人クラブが行う活動に対し補助金を交付する。旧町老連から補助金交付申請書の提出を受け、決定通知書を交付し、補助金を交付する。	11月	旧町4老連
旧町老連が行った健康づくり事業に対し補助金を交付する。年度当初計画書を提出、申請書の提出を受け決定通知書を送付する。事業が終わった老連より実績報告書の提出を受け確定通知を送るとともに、補助金を交付する。	計画：6月、申請：12月、実績：3月	旧町老連・4クラブ

## 7. 所属長評価 [平成20年度から改善した点、今後の展開など]

老人クラブは、地域を基盤に結成された自主的な組織であり、仲間づくりを通しての健康づくり、文化・スポーツ活動、社会福祉活動、友愛活動などを行なっている。高齢者が生きがいをもって生活できることに繋がるよう、当該事業に対し引き続き支援を行う。

### 【参考】過年度の評価

#### ■平成21年度の所属長評価

- ①有効性・効率性を向上させるため、担当職員と議論を重ねた点  
高齢者が外出したりクラブ活動を行うことは生きがいをもって生活できることに繋がるため支援を継続することが大切。
- ②当該事業のアピール事業  
単位老人クラブ、町単位老人クラブ連合会に活動補助金を交付。
- ③反省点、今後の展開・方向性  
各町老連での交流はあるが全体のものとはなっていない。将来的には市老連を強化再編する必要があると思われる。